

KOREA MONTHLY VISUAL MESSAGE MAGAZINE TODAY

2003

1

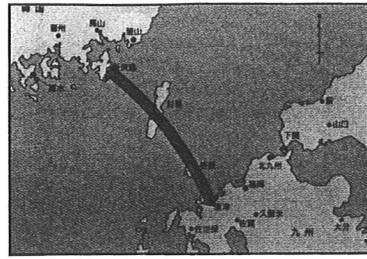


第16代韓国大統領選挙

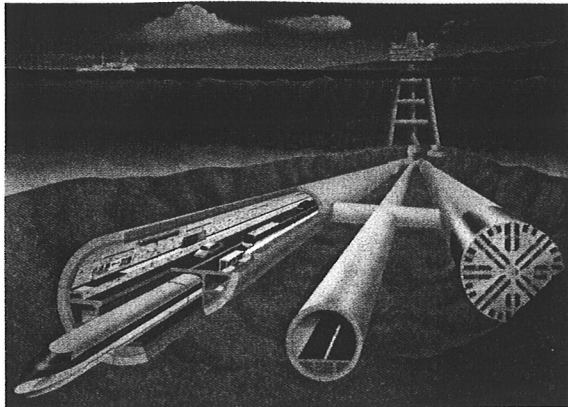
盧武鉉氏が当選

21世紀を拓く夢のプロジェクト 九州－釜山を結ぶ 「日韓トンネル」について考える

「日韓トンネル特別講演会」2002年11月24日



トンネル予想
ルート



完成予想図（高速道路とリニアモーターカーの併用案）

「日韓トンネル」と「国際ハイウェイ」について考える研究講演会『日韓トンネル―特別講演会』（主催・アジア人協会）が昨年十一月二十四日、東京・渋谷区の渋谷エクセルホテル東急で開催された。

プログラムは第一部の講演と二部の懇親会に分かれ、まず最初に主催者側を代表して、アジア人協会の鄭時東理事長が日韓トンネル事業実現へのメッセージを述べた。

祝辞では、高千穂商科大学の名越二荒之助名誉教授が、日本と韓国の友好のためにもトンネルの実現を呼びかけ、続いて、尹世元・韓国学術院会員は、「二十世紀は宗教の戦争が起こっている時代だが、アジアはそれを抜け出し新

しい時代を築かなければならない」と訴え、そのためには、日韓トンネルが象徴となると述べた。

講演で清水馨八郎・千葉大学名誉教授は、八十歳を超える高齢にもかかわらず、奇術のパフォーマンスを交えた達者な語り口とジョークで会場を沸かせた。

「日韓トンネルと日本の使命」と題した講演で、清水氏は、日韓トンネルは実現が可能だとして、「今までは海と三十八度線という障害があつたが、北朝鮮が乗り気になっている」と、日韓トンネルと国際ハイウェイがもたらす経済効果に北朝鮮が関心を示していることを指摘した。

その上、この二十一世紀の未来を拓く世紀のプロジェクトは、それだけではなく、経済不況で低迷している日本にとつても、経済を復興させる大プロジェクトであるとして、その経済効果は「おそらく百兆円になるだろう」と強調した。

釜山水産大学の高冠瑞名誉教授はスライドを交えながら、「南北鉄道・道路の建設」をテーマに講演した。

高氏は、南北統一に弾みをつける鉄道（京義線、東海線）の連結工事やその経過をたどりながら、それが実現すると、シベリア横断鉄道とも連結し、韓半島が東アジア地域の物流の中心になっていくだろうと予測した。

J R新大久保の事故から2年 「李秀賢・関根史郎さんに学ぶ会」

2002年11月3日

一月二十六日、JR新大久保駅で酔って線路に転落した日本人を助けようとして犠牲になった李秀賢、関根史郎両氏の二周年を前に、昨年十一月三日、国立オリンピック記念青少年センターで「李秀賢・関根史郎さんの生き方を学ぶ会」が行われた。

一部は関西大学文学部の上田誉志美教授が「批判的主体の形成をめざして」李秀賢・関根史郎さんに学ぶ」という題目で講演を行い、二部は身体障害者の劇団「ブレイク・スルー」が李秀賢さん、関根史郎さんをテーマに創作した劇「かごめ」を上演した。上演二週間前、主役と主催者が相次いで病に倒れ、上演が危ぶまれたが、寛仁親王殿下が、御自身が主宰する障害者の会の方々に参加を呼び掛けて下さり、上演にこぎつけた。

三部は事故の後、両氏の追悼式を主催した白玉仙さんと、李秀賢さんの故郷の釜山までお墓参りに行った内山安之さんが自分で作った歌を披露した。



講演する上田誉志美教授



寛仁親王殿下と劇団「ブレイク・スルー」の島田千尋代表